

# 「土木遺産」に県内3施設

## 学会 阪急のアーチ橋など選定

土木工学の研究者や技術者らでつくる土木学会（東京）は、歴史的価値がある近代建造物を認定する「選奨土木遺産」に、阪急電鉄神戸本線の神戸市内線高架橋など兵庫県内の3施設を含む26件を選んだ。

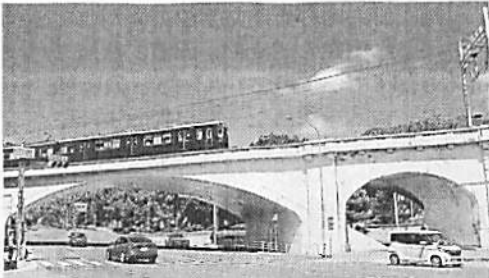
（前川茂之）

土木遺産は優れた近代建造物を顕彰し、保存に役立つのが目的で、2000年に同学会が創設。年間20件程度を選出しており、これまで422件を認定。兵庫県では14件が選ばれている。

新たに認定された阪急の神戸市内高架橋は、王子公園駅（神戸市灘区）と神戸三宮駅（同市中央区）間をつなぐ約2・4キロの高架橋。神戸本線が1936年に神戸三宮に乗り入れた際に設けられたもので、くさた」とした。

び形の建材「迫石」を横した装飾など細部に至るまで高級感ある設計がなされた。同学会が特に注目したのは、王子公園駅のそばにある原田拱橋など3カ所のアーチ橋。山手幹線を斜めにまたぐアーチの美しさを取り上げ、「スタイリッシュな中にクラシックな高級感のある造形がハイカラを好む神戸市民に支持され

また、66年に開業し、8年で運行を終えた旧姫路市営モノレールの遺構群も認定された。同市西延末には旧駅舎を改修した手柄山交流ステーションも設けられている。同学会から「戦後姫路の躍進、当時の日本人が持っていた『大志』の結集」と評された。豊岡市からは水道関連の3施設が「創設期施設」としてまとめて選定された。20（大正9）年に給水が開始された荒船浄水場（豊岡市城崎町湯島）と、22（大正11）年に給水開始した一見水源（同市城崎町上山）、旧神武山配水池（同市京町）で、いずれも「わが国の水道普及期の事例」として遺産認定された。



土木遺産に選ばれた阪急電鉄の原田拱橋＝神戸市灘区原田通1（いずれも提供写真）



1966年の姫路大博覧会の開催に合わせて開通した姫路市営モノレールの遺構群＝姫路市西延末



「水道まつり」を開くなどして地元住民らが守ってきた豊岡市の二見水源＝豊岡市城崎町上山

阪急神戸線の高架橋

姫路モノレール遺構群

豊岡水道創設期施設

神戸新聞 10月15日 木曜日分

2年ほど前に、久しぶりにモノレールを目にしました。一番上の高架橋は学生時代、目にも留めることなく通っていたものでした。

当たり前こそ難しい。いろんな所で感じられるものですね。